

# Indonesia Weekly

2018年12月17日



(対象期間：2018/12/10～12/14)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2018年12月14日)



## 【株式市場】

週前半は外国人投資家を中心とした利益確定売りが優勢となり下落しました。その後は割安感から買戻しが優勢となり、週後半には米中貿易摩擦の緩和期待から上げ幅を拡大しました。セクター別では農業、鉱業、インフラ・公益・運輸などが多くのセクターが上昇しました。

2018/12/7	2018/12/14	変化率
6,126.36	6,169.84	+0.71%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2018年12月14日)



## 【債券市場】

週前半は米中貿易交渉を巡る不透明感が継続したことで10年国債利回りは上昇傾向で推移しました。インドネシア中央銀行は市場の安定化を目的として債券市場で介入を行いました。また週後半には米中貿易摩擦の緩和期待が高まったことで10年国債利回りは低下傾向となりましたが、週間では上昇（価格は下落）しました。

2018/12/7	2018/12/14	変化幅
8.035	8.118	+0.083

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2018年12月14日)



## 【為替市場】

週初は米中貿易交渉を巡る不透明感が継続したことで軟調となりました。インドネシア中央銀行は市場の安定化を目的として為替市場で介入を行いました。また週後半には米中貿易摩擦の緩和期待が高まったことでルピアは買い戻される展開となりましたが、週間では下落しました。一方で対米ドルで円安が進行したことからルピアは対円でほぼ横ばいとなりました。

2018/12/7	2018/12/14	変化率
0.7779	0.7772	-0.09%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社は関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ